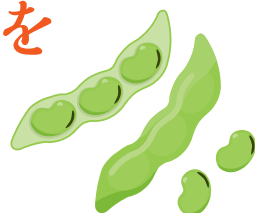


家庭菜園相談室

今月の
テーマ鮮度が命！収穫したてのおいしさを
味わってください～ソラマメ～

ソラマメはかたくなる前の未成熟種子を食べるため、収穫後、鮮度が一気に低下します。
採れてから3日がおいしさの期限と言われており、家庭菜園ならではの新鮮さが楽しめる野菜です。

作型目安

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
ソラマメ	●	●				●	●	■	■
						●	●	●	●
						●	●	●	●
						●	●	●	●

● 種まき ■ 収穫

栽培の
ポイント

- ・ソラマメやエンドウ豆などのマメ類は連作障害を起こすため連作を避け、3～4年の間はマメ科植物を作っていない畑を選びましょう。
- ・マメ科植物は根に共生する根粒菌から窒素分を吸収するため、肥料（窒素分）は控えめにします。
- ・低温にあわないと開花しないため、中間地や暖地では秋に種をまきます。幼苗期は耐寒性はありますが、無理に早まきすると、大きくなり過ぎ冬の寒さで傷んでしまうため注意が必要です（生育適温は16～20℃で耐暑性は弱く、20℃以上で生育が衰えます）。

畑の準備

植え付けの2週間前に、堆肥2^{kg}/㎡と苦土石灰100^g/㎡を施し、よく耕します。
植え付けの1週間前に、化成肥料(8-8-8)80^g/㎡を施し、よく耕します。
畝幅100^{cm}、畝の高さ10^{cm}（排水の悪い畑では20^{cm}）の畝を立て、マルチを張ります。
アブラムシ除けには、シルバーマルチか銀線入りのフィルムが有効です。

種まき

マルチに35～40^{cm}間隔に1条まきの穴を開けます。
直まき → 種はお歯黒（黒い筋の入った部分）を斜め下に向けてまきます。
1カ所に2粒まき、薄く土を被せ、軽く手で押さえます。
ポットまき → ポリポットに2粒ずつタネをまき、本葉が展開してきたら1本にし、本葉2～3枚になったら畑へ植え付けます。
発芽するまでの約1週間、乾燥と虫害、鳥害を防ぐため、不織布をベタ掛けし、その上からたっぷり水をかけます。

間引き

株間や畝幅が狭い時には本葉2枚目が展開した頃に1カ所1本に間引きをします。

防寒対策

間引き後、寒さが厳しくなる11～12月頃は寒冷紗か不織布をトンネル掛けするのがオススメです。また、本葉5～6枚の頃が最も寒さに強いので、この大きさで越冬させましょう。

追肥

開花始めと着莢肥大期の2回、化成肥料(8-8-8)30^g/㎡ほど施します。根元からできるだけ離れたところに均一にばらまきます。
肥料が効き過ぎると徒長、倒伏し、病害虫（アブラムシ）が出やすくなります。

整枝・摘芯
支柱立て

花つき・実つきをよくするために草丈が50～60^{cm}になったら、太く節間の詰まった枝を6～7本残し、残りを整枝します。
その後、草丈が70^{cm}程になったらすべての枝の先端20^{cm}程度を摘芯します。
また株が倒れるのを防ぐため、周囲に棒（支柱）を立ててヒモなどで囲います。

病害虫防除

春先にアブラムシが発生し茎の先端などを加害するため、先端についたアブラムシを駆除します。
また、アブラムシ類はモザイク病などのウイルス病を媒介するため注意が必要です。ウイルス病になった株は、抜き取り、土中に埋めるなど適切に処理します。
農薬防除は「未成熟そらまめ」「豆類（未成熟）」「野菜類」に登録があるものが使用できます。

収穫

開花後35～40日で収穫適期となります。さが下がり垂れ下がってきたら採り頃です。指で触って豆の膨らみを確認してから収穫します。
収穫適期が短いので採り遅れないように注意しましょう。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。